スマイルオブキッズ 通信

Vol.26

2021年6月発行

三本の河津桜と「リラのいえ」

認定NPO法人スマイルオブキッズ　理事長　松尾忠雄

患者・家族滞在施設「リラのいえ」の敷地には多くの花木が植えられています。四季折々に咲く花々は介護で疲れた滞在者の方々やボランティアの皆さんにひと時の安らぎをもたらしてくれます。

昨年十一月、私たちの活動を支援いただいている団体の方々から河津桜の寄贈がありました。その団体の設立五十周年記念の事業として、三本の苗木を「リラのいえ」の敷地に植樹していただきました。一メートル足らずの苗木でしたが、二月中旬にはいくつかの花が咲きました。

この三本の桜は、私たちの活動を象徴しているようにも思えます。一本目は施設を利用されるご家族、二本目はご家族を支えるボランティアと保育士、三本目は活動をお支えくださる支援者の皆さま。私たちの活動はこの三者で成り立っている事を思い起こさせます。

未だ新型コロナウィルス感染症は収束していません。植えられた三本の桜が揃って無事に生長した暁には、桜の花を見るたびにこのコロナ禍を乗り越えたことを思い出せるようにと願います。患者家族、ボランティア、保育士、支援者の皆さんそれぞれが、コロナ禍の大変な時期を越えて学んだ証しとして伝えられることには意味があるのではないでしょうか。

松尾芭蕉の句に「さまざまの事おもひ出す桜かな」とあるように。

リラのいえの四季　～2020冬・2021春～

河津桜はバス通りからも眺められる敷地に植えられています。花が咲いた後には、さくらんぼの実をつけました。

3月末には芝桜の全面改修も行いました。美しく並んだ苗。看板後ろのリラの木も植え替えました。

コロナ禍でも減らなかった遠方からの難病患者さん

神奈川県立
こども医療センター
外科
小児がんセンター長
北河徳彦

コロナ禍のいろいろな制限で日常生活のストレスが貯まる一方ですが、入院中のさまざまな制限の中でも健気に頑張っているこどもたちを見ると、「先生も頑張ってね」と言われている気がします。

こども医療センターに関東圏以外からご紹介をいただいた患者さんは、２０１９年に６３０名、２０２０年は６１８名でした。この二つの数字はコロナ前後での比較を意味しますが、あまり減っていないことが分かります。遠隔地から来られる難病の患者さんはコロナ禍の混乱でも待つわけにはいかなかったからだと思います。

私が、全国でもあまりやっていないがんの手術を手掛けているため、日本のあちこちから患者さんが来られ、ほぼ全ての方がリラのいえを利用されています。完治した患者さんもたくさんいますが、残念ながら力及ばず、天国から見守ってくれている患者さんもいらっしゃいます。みんな鮮明に思い出せますが、その時のご本人、そして親御さんの治療に賭ける強い想い、手術が終わった時の安堵の笑顔、いつ思い出しても胸が熱くなります。医局の自分の机の前にはそのような患者さんの写真が何枚も貼ってあり、難しい手術に挑む時、「○○ちゃんが見守ってくれてる」と自分に言い聞かせることもあります。

手術前後で極度に張り詰めた親御さんを笑顔で迎えてくれるリラのいえは、今やこども医療センターになくてはならないものです。たまたま今、入院している方に聞いてみますとリラのいえは「近い」「快適」「安い」「親切」「暖かい」の感想が即座に返ってきました。リラのいえの魅力を良く表していると思います。特に「親切」という言葉を強調される親御さんが多く、運営、ボランティアの皆様のお気持ちがしっかり伝わっていると感じられました。

この素晴らしい施設をこれからもフルに活用させていただき、難病のこどもたちが治るよう、頑張りたいと思います。

私とリラのいえの出会い、そして、ちあふぁみ！

神奈川県立こども医療センター
血液・腫瘍科
横須賀　とも子

「リラのいえから毎日面会に来ています。もう二か月になります。」「今日はリラに外泊するんだ！」そんな風に病院でこどもたちとご家族からお聞きしていました。

昨年から仕事帰りに1～2か月に1回、2時間程度、受付のお手伝いをしています。

白衣を着ずに、リラのいえのお手伝いをしてみると、いつもと違ったものが見えてきます。戸締り確認や、電話の対応、炊けたご飯を混ぜ、「おかえりなさい」「行ってらっしゃい」。私にできるのは些細なことにすぎません。ご家族にお声をかけると、病院では見せない、ほっとした表情に出会いました。病院にいらっしゃるご家族は私たち医療者と接するとき、とても「緊張」されている。その緊張をほどく場所がリラのいえにはある、のですね。また、引き継ぎや、手順を教えてもらった際にたくさんのボランティアの皆さんとお会いし、地域の方々に神奈川県立こども医療センターが支えられていることを強く感じました。心から感謝いたします。

入院しているこどもたちだけでなく、きょうだいのことも大切です。神奈川県立こども医療センターでは、今まで、きょうだいが面会することが予防接種などの条件付きで許可されていました。「いつも野球を頑張っているってお母さんから聞いているよ」「（きょうだいの）○○ちゃん、日に焼けたね！」など、きょうだいとの会話がとても、楽しみでした。このＣｏｖｉｄ-19の流行できょうだいのみんなと会うことも、出来なくなっています。リラのいえでは、このような時でも、きょうだい児保育を継続されています。今後も、きょうだいが楽しく、主役として過ごせるステキな場所を、継続、拡大していただけることを切に願います。

昨年、ちあふぁみ！という小児がんのこどもたちとご家族を地域で支えるボランティアを、神奈川県立こども医療センターの仲間とともに立ち上げました。

まずは小児がんから始めていますが、今後、病院全体に広げていきたいと思っています。闘病しているこどもたちと家族が過ごすために、あなたの得意な分野を活用して、こどもたちに笑顔を届けてみませんか。

https://cheerfami.jp/

優しい居場所

千葉県の利用者さんより

出産前からお腹の中の子どもに重度の心疾患があることが分かり、ご縁あって自宅から離れたこども医療センターで出産することになりました。出産以降、テレワーク中の夫と一緒に、約２か月間リラのいえを利用させていただいております。

出産前の周囲の予想に反し、おかげさまで子どもは順調に成長しており、近々一回目の手術を受ける予定です。

私たちは、リラのいえに来た当初、初めての子育てへの戸惑い、子どもの病気の悩みや将来に対する不安など、精神的に非常に不安定な状態でした。そのような中、施設長さんやボランティアさんからいつも優しくお声がけいただき、相談にも乗っていただいているおかげで、夫婦ともに身体と心を壊すことなく、毎日子どもと面会し、一緒に過ごす時間を楽しむことができています。また、他の利用者さんとお話をする中で悩みを共有することができ、それが精神的に大きな支えになっています。

子どもの病気をきっかけにリラのいえと出会い、地球上にこんなに優しいエネルギーに溢れている場所があったのか、と感激しています。

リラのいえに滞在し沢山の方々の優しさに包まれていると、きっと私たち夫婦も子どもも、これからも一歩一歩乗り越えていけるのではないか、病気を抱えながらも幸せを感じて生きていけるのではないか、と勇気と希望を持つことができるようになってきました。

リラのいえとの出会いがなければ、今、毎日子どもの成長を心から喜んだり、子どもと過ごす時間を楽しんだり、家族の明るい未来を描くことはできていなかったと思います。

私たち家族に居場所を作ってくださり、勇気と希望を持たせてくださり、本当に有難うございます。この場を借りてリラのいえに関わる全ての方に、心から感謝申し上げます。

つぶやきノートから

～栃木からの利用者のお子さんより～

私は、重症筋無力症という病気を３年生の終り頃に発症しました。現在は５年生です。

この病気は、主に力が入りにくくなり、疲れやすいです。

初めに気付いたのは卒業式の練習で、いすを運ぶ時、手に力が入らなくなり、落としてしまいました。そして、お母さんに相談しました。

その前にも似た症状があり、友達と放課後遊んでいると、急にへたりこんでしまったり、走れなかったりなどあり町の病院へ行きました。ですが、わからなかったので病院の紹介で大学病院へ行きました。最初は心の問題かな、と言われたのですが、血液検査をしたら「アセチルコリンヘプター抗体」というのもが普通は 0.1 以下なのに 50 近くあり、緊急入院でした。そして１ヶ月後に退院できました。その後、宿泊学習、運動会とあり、運動会の後体がおかしいといって早めに病院へ行って抗体を見ると、150 になっていました。そして、後日入院しました。ステロイドパルスという点滴で治療しました。１ヶ月後退院できました。

このようなことがあり、お医者さんから胸腺を取った方がいいと言われました。

この手術は最悪の場合だったので、最初はいやでした。ですが、神奈川へ行って説明してもらい、大阪から胸腺をとる手術のプロの先生も来てもらえるとのことだったからです。

ですが、コロナウイルスのせいで予定日がずれてしまいました。

そして、６月３日、手術が行われました。

たくさんの看護師さん、お医者さんがいて安心して手術ができました。その後 HCU1 へ入り何日か後に一般病棟へうつりました。看護師さんは、みんなやさしく、痛みのことも、改善策をたくさん考えてくれました。

今飲んでいるステロイド剤を早くゼロにして走り回れるようになりたいです。

リラのいえでは数日間お世話になりました。食堂では無料で食料がおいてありびっくりしました。このような施設がもっと広まってほしいです。

解説：各個室にある「つぶやきノート」。昨年リラのいえを利用されたお子さんが、同じ病気になった人に読んでもらいたいと書き残してくださいました。お子さんと親御さんの許可を得て、掲載させていただきます。

ボランティアさんに聞きました

①お名前②お住まい②好きなこと・得意なこと④活動に参加したきっかけなど

リラのいえ共有部分の清掃はボランティアが行います。テラスのお掃除も定期的に。

①近藤　純子
②横浜市戸塚区
③掃除・園芸関係
④参加のきっかけは、タウン誌だった様に思います。年齢も70才を過ぎていたので、ダメでもともとリラのいえに直接伺いました。まだまだ未熟者ですが、活動の度に充実感があり自身の成長につながります。

当直の活動は夜８時～朝９時まで。午前中担当のボランティア町田さんと引き継ぎをしています。

①伊藤　秀晶
②神奈川県茅ケ崎市
③スキューバーダイビング
④退職後には何か子どものための活動をしたいと思っていたところ、新聞でスマイルオブキッズの設立に至る内容の記事を読みました。少しでもお役に立てればと直接電話をして、活動に共感をしたので参加をさせて頂く事になりました。当直を担当しています。

組織基盤強化事業
～絵本に込めた思い～

2018年～2020年まで、Panasonic　NPOサポートファンドの助成を受けて組織基盤強化事業に取り組みました。

新法人設立、理事長の交代という大きな節目を迎えた中、スタッフとの話し合いを重ねながら、これまでの活動を見つめなおす貴重な機会となりました。

助成３年目には、その集大成として中長期方針を策定致しました。スマイルオブキッズに関わる方々（利用者、支援者、医療者、スタッフなど）から、活動への想いをうかがいました。お話の中から導き出したキーワードを、「物語」と「約束」に込めて、たくさんの方に知っていただくため絵本を制作致しました。

法人の未来を描くことで、多くの共感を得て、「愛する子ども達」への応援の輪が広がることを祈っています。

２年目のスタッフワークショップでは、利用者さんから受け取っているもの、プレゼントしているものを皆で考えました。

きょうだい児支援シンポジウム
～きょうだい児支援の広がりと繋がり～

2021 年 1 月 9 日（土） かながわ県民センター ｜参加者：会場 17 名／オンライン 111 名参加

一昨年度より開催しているきょうだい児支援シンポジウム。今回は、かながわボランタリー活動推進基金 21 ボランタリー活動補助金の助成を受けて開催致しました。緊急事態宣言下で、会場での参加は少なくなりましたが、全国からオンラインで参加いただくことができました。

登壇の先生方からは、きょうだい児支援の黎明期から現在に至るまでの広がりや、コロナ禍がきょうだいに与えている影響などを報告いただきました。また、「小児慢性疾病児童等自立支援事業」による行政との連携には、医療機関と支援団体との繋がりが大切であることもうかがいました。教えていただいたことを、今後のきょうだい児保育事業に活かしていきたいと思います。

レポート、アンケート集計、きょうだいさんへのメッセージをスマイルオブキッズ HP で公開しています。どうぞご覧ください。

尚、本年度も継続助成を受け、きょうだい児支援の繋がりを更に深めることをテーマとしてシンポジウムを開催する運びとなりました。10 月 2 日にオンライン開催予定です。たくさんの皆様にご参加いただけますよう、準備を進めて参ります。

きょうだい児保育

マスク越しでも笑顔で

新型コロナウイルスの影響で、どの保育施設も緊張感の続く日々を送り、気付けば一年が経ってしまいました。子どもたちもすっかり手洗いが上手になりました。

マスク着用が日常となり、大人の表情がよく見えない中で過ごす乳幼児の発達を危惧する声も聞かれます。ましてやリラの保育に来るきょうだいさんは慣れない場所で、顔がほとんど見えない初対面の保育士と過ごさなければなりません。しかし、目元しか見えない私達が微笑みかければ乳児さえも微笑み返してくれます。マスク越しでもちゃんと表情が伝わっているのだと子どもの力に驚きつつ、その笑顔に救われる思いで私達はコロナ禍の保育を続けています。

そんな中でほっこりするエピソードです。あるお子さんが持って来たのはカフェのランチボックスを思わせる紙製のお弁当箱でした。蓋を開けた途端「うわー！」と私もお子さんと一緒に声をあげてしまいました。

前日からリラのいえに宿泊して、ご両親は早朝に病院へ、手作り弁当というわけにもいかない状況です。前日購入したのであろうドーナッツ等がそれはそれはワクワクするように並べられていました。お子さんが楽しい思いになるよう工夫して詰められたのが伝わってきて、お子さんの緊張感も一気にほぐれる瞬間でした。しかも箱の蓋には素敵なメッセージまで！お子さんは嬉しそうに保育士に読んでくれました。

こうした親御さんの愛情を浴び、ちょっとした心遣いをしっかり受け止めて、子どもたちは心豊かに育っているのですね。

私達大人もマスク越しでも飛び切りの笑顔で過ごしましょう。マスクなしで笑い合えるその日まで！

リラのいえ保育士　鈴木美絵

2020 年度活動計算書

科目		合計（円）
Ⅰ．経常収益		
1．受取会費	816,000	
2．受取寄附金	13,205,841	
3．受取助成金等	7,021,000	
4．事業収益	3,329,350	
5．その他収益	2,528,019	
	経常収益計	**26,900,210**
Ⅱ．経常費用		
1．事業費	269,272,974	
2．管理費	6,765,164	
	経常費用計	**276,038,138**

Ⅲ．経常外収益		0
Ⅳ．経常外費用		0
税引前当期正味財産増減額		△ 249,137,928
法人税、住民税及び事業税		75,703
当期正味財産増減額		△ 249,213,631
前期繰越正味財産額		428,773,715
次期繰越正味財産額		179,560,084

＊平成 29 年 3 月 29 日に開催した臨時総会決議に基づき、令和 3 年 1 月 28 日、小児ホスピス建築用特定資産を特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクトへ譲渡した。

2020 年度事業報告書

①闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

ア　患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

内容：　闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業
運営期間：　通年
従事者：　約 70 名
対象者：　病児とその家族
場所：　横浜市南区「リラのいえ」
利用者：　2,044 名
平均稼働率：　42.1%

②家族の交流の場の提供事業

ア　コンサートホールで生の音楽を聴くことのできない子どものための音楽会の開催

内容：　8 月 15 日～ 16 日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。
出演者より子どもとご家族に向けたメッセージ動画を作成いただき、ホームページで公開した。

イ　バザー開催

内容：　10 月 18 日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

③保育事業

ア　きょうだい児保育事業（横浜市の認可外保育施設として認証）
（新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金助成事業）

内容：　医療センターへ入通院する病児のきょうだい児の預かり保育・きょうだい児支援研修会の開催
運営期間：　通年（4 月 5 日～ 5 月 31 日まで休園）
従事者：　10 名
対象者：　病児のきょうだいとその家族
場所：　横浜市南区「リラのいえ」
年間利用者：　555 名

イ　研修会等への保育士派遣

内容：　他団体が主催の、病児の家族や小児医療に関心のある方を対象とした研修会等での預かり保育に派遣予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により依頼を受けなかった。

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業

ア　重症心身障がい児と家族への音楽支援

内容：　新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

イ　チャリティーコンサートの開催

内容：　7 月 11 日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。

ウ　病気や障害のある子どものきょうだい児支援事業
（かながわボランタリー活動推進基金 21 助成事業）

内容：　きょうだい児の抱える課題や必要な支援についての社会的周知、支援者同士の交流を目的としたシンポジウムの開催。会場では感染防止対策を講じて実施、オンライン配信も併用し行った。
開催日：　1 月 9 日
従事者：　19 名
対象者：　一般市民
場所：　かながわ県民センターホール
参加者：　会場 17 名・オンライン 111 名

⑤その他、本会の目的を達成するために必要な事業

ア　組織基盤強化事業（PanasonicNPO サポートファンド　助成事業）

内容：　「創業期体制からの移行・次世代への事業継承に向けた組織基盤強化」をテーマとして行った。
従事者：　約 80 名

ご寄付一覧

ご寄付一覧（敬称略）
（2020年11月～2021年5月）
ご支援、ありがとうございました

【寄付・賛助によるご支援者】

11月：匿名／（株）アジアンライズジャパン／MS&ADゆにぞんスマイルクラブ／阿部啓子／伊澤リヨ／下出和治／吉井豊／金城重盛／駒形真貴子／江川日登美／高橋光雄／高尾節子／佐伯トシコ／山本悦子／秋元稔子／小金丸輝久／小林整治／松尾忠雄／斉藤真紀／赤木和子／土屋博嗣／内田稔／福島可奈子／立正佼成会横浜教会／和田由美子／檜佐幸子／匿名／前田憲生

12月：氏家ゆり子／（株）柴橋商会／（株）アジアンライズジャパン／（株）栄光メディアミックス／（有）伊勢屋呉服店／KantoCLown／オオトシカズヨ／さいとう小児科齋藤綾子／安井泰子／安嶋裕美／安藤弘子／安保さよ子／伊藤紘一／伊藤和弘／伊藤惠子／依田今日子／井上秀枝／井上純子／一色広子／茨木良枝／宇田永治／宇野江津子／羽田貞子／益田佳永／遠藤信行／遠藤明／塩見あき子／塩山泉／横山新一郎／岡山幸弘／岡田章／岡和子／乙川篤子／花村伊都子花田大・いち子・晴斗／萱畑佳代子／間宮節子／関英一郎／関孝弘／館野富美子／岩口泰広／岩崎純士／岩崎眞一郎・幸代／儀間小夜子／吉村みち子／吉田あけみ／吉田かほり／吉田賢一・聡／橘孝夫／宮谷英恵／宮田万紀子／桐生秀昭／近藤純子／駒形真貴子／熊切正志／原豊文／古平秀子／戸越税理士法人／田孝子／後藤彰子／工藤弥生／康井制洋／弘正明／江波戸洋子／高橋道子／高見沢の／り子／高尾節子／黒瀬竜太／黒田節代／黒澤健司／根本富雄／佐々木利明／佐々木高行・裕子／佐藤とく／佐藤光雄／佐藤庄一／朗／佐伯トシコ／斎藤義彦／細谷和一郎／三浦則子／三石佳子／山下薫／山腰由紀夫／山森伸子／山下正倫／山本悦／子／山本裕美／市川利子／市民活動プラザ／六中ソフト事業推進室／志澤直樹／氏家ゆ／り子／鹿島克郎／室井佳子／篠崎暁子／柴／田和代／若狭静枝／酒井一夫／一平・小了／酒井伴美／宗像正子／秋山美和子／小山田／豊／小森節子／小瀬村芳明／小西昌樹／

＊貴重な紙類の消耗品、消毒液、手作りマスク（大人用・子供用）など、感染症対策の必需品をたくさんの方からご寄付いただきました。
＊企業による清掃活動等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止いただきました。

牧誉弘／小林整治／小林木綿子／小髙愛二郎／松鵜光子／松島太郎／松尾宏之／松尾忠雄／松尾満知子／松本剛／松本真理子／松本美和子／松本優／上田美代子／新田隆／森みどり／森みゆき／森下ヨシ子／森晃一／森田知子／深澤時江／神納智津子／須藤ナオ／水戸陽子／水島朝子／杉山真紀／菅原かつ／瀬尾公子／成田則子／西岡智子／西田幸子／西田大介／西尾博／西林洋子／青木茂／斉藤俊雄／斉藤昇／石井智巳／石丸晶子／石橋一子／石原史美／石川基子／千久田恵／川上賢治／川田妙子／川﨑圭子／泉水恭子／浅川冨美子／船越一／倉田真実／草間知子／村井淳／村山明子／村田大輔／多田満恵／大石賢二／大津雅弘／大塚洋子／大木宏之／滝澤始／池田龍子／竹田弘／中西英樹／中村佳世／中村淳子／中村昌子／中島敏夫／中嶋康博／長沢保／鳥越豊／辻政代・百合江／天海百合子／天谷幸子／田島香代子／渡辺弘美／渡辺比砂子／田川いつ子／田川正志／田中寧子／渡邉美紀／土屋雄聖／嶋田哲也／湯川仁／藤間繁／藤原勝美／藤田秀明／匿名／匿名／匿名／内山玉江／白井俊明／白谷弥生子／八谷時子／比嘉美恵子／武舎澄江／福島正子／文屋幸子／平山真也／平出久美子／平野まり子／米山勝子／北見雅則／北沢慶三／北島孝子／堀川浩邦・恵子／本多八重子／名和幸子／毛利環／木原芳嗣／木戸よし江／木全重樹／木村茂雄／門田由美／野崎廣子／野沢三千子／矢崎守孝／有賀実男／（有）湘南仲介センター代表取締役野上武重／立石諒子／林勝／鈴木ひとみ／鈴木郁男・市子／鈴木昭／鈴木清一郎／鈴木太郎／澤岡悠紀子／澤田大輔／眞岸冨子／苣野円満／吉原富美子／橋本剛／笹野淳／田中悟朗／福井和樹・智美

1月：松永孝之・朱美／（株）アジアンライズジャパン／エンドウサチコ／ホンダカーズ神奈川中（株）／安達かほる／横田美和子／岡田浩一／荻野真貴子／宮﨑祥司／駒形真貴子／後藤浩之／高橋房子／高尾節子／山崎里絵／糸永美百合／鹿嶋美由紀／小島悦子／小林整治／松江さや子／松尾忠雄／新村さゆみ／森美弥子／森山喜代子／森田みなみ／青柳充彦／石原真弓／石森眞基子／中澤寛／匿名／島倉志穂／島田啓子／藤田伸二／内田稔／白井シズ枝／尾田政彦／標光義／武川幸子／保持のり子／矢島美代／髙石直美／横田隆一郎／近藤淳子／竹内義宣／林洋平

2月：仁田昌寿／（株）アジアンライズジャパン／FC元気屋にかほ店海老海佐藤昭彦・菊池寿人／スマイルこどもクリニック東戸塚院／（株）ドット・シー／鎌田慎次／駒形真貴子／高尾節子／佐伯トシコ／山田和嘉子／小林整治／松尾智子／松尾忠雄／進藤喜子／水谷透／相川延子／袖山恵子／大久保八重子／中村泰子／長嶋みや子／匿名／藤田真佐江／福井友子／豊田順司法書士事務所／鈴木喜子／鈴木尚美

3月：瀧口秀之／（株）アジアンライズジャパン／安嶋裕美／宇田永治／羽鳥眞一郎／横浜友の会戸塚方面／横浜友の会中方面／駒形真貴子／高尾節子／佐伯トシコ／細見和子／山﨑眞理江／小瀬村芳明／小川副代／小林猛・千賀子／小林整治／松尾忠雄／青山眞莉／青﨑俊子／千葉喜美子／早川禎子／谷畑育子／竹沢佐知子／鶴田直子／匿名／NPO法人港南たすけあい心／米山潔／矢崎守孝

4月：今福杏子／（株）アジアンライズジャパン／下出和治／加藤芳章／貫井敏子／関英一郎／駒形真貴子／高尾節子／小林整治／松尾忠雄／石垣成子／匿名／匿名／堀川浩邦・恵子／柳原隆夫／石川樹里／千葉夕佳

5月：大谷英生／ノーベルファーマ（株）／岡田千衣子／荻野真貴子／岩渕千佳子／菊島紘子／吉田賢一・聡／吉田孝子／近藤厚哉／駒形真貴子／高尾節子／佐伯トシコ／志澤直樹／小瀬村芳明／小林整治／松尾忠雄／新田香代子／清水建夫・久美子／竹田弘／長沢保／田中純子／匿名／渡辺真哉／北沢慶三／匿名／髙橋和子／高尾節子／酒井伴美／深串美代子／（株）アジアンライズジャパン／草場春美／曽根晶子／山下正倫／鈴木郁男・市子／中澤こづ江／田中絹枝／石井結子／小原淳／磯ヶ谷政久／安藤弘子／標光義／堂ノ脇利々／石丸晶子／小林直人／深澤時江／大石賢二／内田稔／曽我紘一／（有）湘南仲介センター代表取締役野上武重／戸田孝子／松尾宏之／根本富雄／石橋一子／椎名鉄男／桐生秀昭／岡部卓也／石川梓／田口由多加

【マンスリーサポーター愛する子ども達おうえん団（毎月の寄付）】

医療法人鳳珠会／笠原美香／匿名／後藤裕明／高木翔子／佐々木由美子／三井美恵子／神原雅美／浅村澄子／太田優子／大賀賢一郎／谷畑育子／中野学／長嶋健志／鳥澤竹彦／田中義俊／渡邉豊／藤木和子／木全重樹／木村裕毅／野口信恵／有田浩美／有田佐智／鈴木有子／齊藤進治

○よこはま夢ファンド

○かながわ県立病院小児医療基金

○かながわボランタリー活動推進基金21

○PanasonicNPOサポートファンド

【物品寄付によるご支援者】

11月：菊島紘子／（株）川口／匿名／藤井耕介／保坂悦子／毛利環／（株）幸せ届けたい／芹澤功子／NPO法人チャリティーサンタ／草場春美／荏原花園／星野洋子／土屋雅哉

12月：（株）柴橋商会／香島寛孝／佐藤美津子／井戸芙實子／匿名／加藤葉子／久保順・琴枝／鹿島有紗・浩子／西村昭子／武藤由美子／伊藤寿子／吉田夏帆梨／佐藤とく／佐藤ペティー／山田怜／佐藤恵美／佐藤美津子／ホンダカーズ神奈川中（株）／芹澤功子／皆川久子／松川守／戸田孝子／こども医療センターNICU看護師／（株）ミツバ／市民活動プラザ六中ソフト事業推進室／山田みちよ／（株）栄光メディアミックス／工藤友子／塩森芳枝／日村結夏子

1月：倉田真実／井上秀枝／NPO法人美輪の会／三浦美奈子／沼澤静枝／芹澤功子／中丸つぶら／ホンダカーズ神奈川中（株）／佐藤美津子

2月：塩森芳枝／戸田孝子／横浜南ロータリークラブ／倉田真実／匿名／高森皓太郎／小泉三千代／松本はるか／山本文子／小西陽子／匿名／花王（株）社会貢献部／小林修／林三恵子／西村祥子／みんなのレモネードの会

3月：松尾智子／林三恵子／河西真理子／大野誉宜／櫻田はるか／NPO法人美輪の会

4月：武藤由美子／（株）ミツバ／匿名／匿名／待島／山口美知留／小林和子／安保絵里／芹澤功子／和田和枝／グランブリエ横浜山下公園管理組合／福井和樹・智美／貫井敏子

5月：美浦／匿名／横浜市／三浦美奈子／草場春美／佐藤恵美／ハッピーひろば／佐藤ペティー／立正佼成会横浜教会／沼澤静枝／仁天堂薬局湯川仁

その他のご支援

◇荏原花園様（港北区高田町）：パンジー・ビオラなどの花苗をご寄付いただきました。

◇イオンリテール（株）様：毎月11日の幸せの黄色いレシートキャンペーンにて、お買い上げ金額の1％をご寄付いただきました。

◇毎日新聞東京社会事業団様：「小児がん征圧募金」の一部を活動助成金としていただきました。

◇（株）東横商事様：月に2回、食品・消耗品の提供をいただいています。（レトルト食品250食・ミネラルウォーター1680本・パックごはん290食・カップ麺312食・カップスープ96食・栄養補助食品252個）

◇フードバンクかながわ様：沢山の食材をいただきました。

◇リラのいえボランティア・保育士より、日用品・食材・お花などを提供いただいています。

ご寄付をお振込いただいた支援者様には礼状と領収証をお送りしておりますが、ご不要の場合は、振込用紙に「領収証不要」とご記入下さい。会報のご寄付一覧にはお名前を掲載させていただきます。

スマイルオブキッズは、認定NPO法人の認定資格について、横浜市より更新通知書の交付を受けましたのでお知らせいたします。当法人へのご寄付は、2021年7月1日以降も継続して寄付金控除の対象となります。皆様のご支援により更新が可能となりましたこと、心よりお礼申し上げます。

■リラのいえ・利用状況（2020 年 11 月～ 2021 年 5 月）

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
家族数	18	21	27	22	17	23	28
宿泊者（利用者数）	126	162	204	174	180	262	366
稼働率	36.5%	42.6%	51.3%	41.0%	45.8%	61.0%	77.1%

■きょうだい児預かり保育・利用状況（2020 年 11 月～ 2021 年 5 月）

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
利用人数	35	68	56	45	38	39	44
時間	86	175	132.5	116.5	86.5	117	160.5

各種会議日程報告

スマイルオブキッズ理事会（11/26・1/28・3/22・5/20）／**こども医療センター・滞在施設運営会議**（11/17・12/15・1/29・2/15・3/15・4/20・5/18）／**きょうだい児支援連絡会**（11/17・2/15・5/18）／**スマイルオブキッズ運営会議**（11/13・12/11・1/8・2/12・3/12・4/9・5/14）／**保育話し合い**（12/14・1/25・2/22・3/24・4/28・5/24）／**リラの会**（5/11・5/20・5/29）／**組織基盤強化ワークショップ**（2/27）　＊３密を避けるため、オンライン会議システム等を活用しました。

活動予定（2021 年 6 月～ 2021 年 10 月）

6 月 26 日　チャリティーコンサート「愛する子ども達のために 2021」はまぎんホールヴィアマーレ
8 月 21 日　「第 12 回 地域がささえるふれあいコンサート」　横浜ラポール（収録）
10 月 2 日　きょうだい児支援に関するシンポジウム（オンライン開催）
10 月 24 日　リラのいえバザー
＊バザー用品のご提供をお願い致します
（消耗品・バスタオル他雑貨・衣類（すべて新品・未使用）・食品（期限内）・手作り品）

支援サポートのお願い

（賛助金・寄付金には税額控除が受けられます）

【リラのいえ運営・保育・音楽支援事業のための募金口座】

ゆうちょ銀行振替払込口座番号：00250-0-113817
他金融機関からの振込口座番号：店名／ 029　口座番号／（当座）0113817
加入者名：NPO 法人　スマイルオブキッズ

◇正会員（年会費 1 口 1,000 円× 3 口以上）：
法人の目的に賛同する会員。法人の社員となり総会の議決権があります。
◇賛助会員（年会費 1 口 5,000 円）：事業を賛助する会員。サポート会員とも言います。
◇寄付：いつでも、おいくらからでも受け付けております。
◇遺贈についてのご相談も継続して承っております。

寄付のクレジットカード決済はこちらより行えます。

【クレジットカード決済によるご寄付の受付も始めました】

クレジットカードを利用してご寄付いただけます。下のＱＲコードにアクセスしてください。
◇「今回のみ」のご寄付も受け付けています。
◇マンスリーサポーター「愛する子ども達おうえん団」：寄付頻度「毎月」を選択すると、毎月 500 円から継続的にご支援いただけます。初回の入金確認後、「団員証」を郵送致します。
◇団員限定のメルマガ配信を開始しました。

【物品寄付のサポート】

◇施設で使用する物品の提供（生活消耗品、期限内の食品、未使用の切手など）
◇バザー用品の提供（消耗品・バスタオル他雑貨・衣類　＊すべて新品・未使用）

【労力・時間を提供するサポート】

◇施設内外の管理・環境整備（草取り・お花の手入れ等）
◇専門技術の提供（ヘアカット・料理・バザーの手作り品）

物品ご支援ください

①鯉のぼり（4.5 メートル程度のセット）②LED 電飾（テラスに飾るもの）③だっこひも（保育で使用）
いずれも、新品を希望します。ご寄付いただける方は、ページ下部の電話またはメールにご連絡ください。

○スマイルオブキッズ HP が新しくなりました。利用者の声など、随時更新しています。
https://www.smileofkids.jp/
○ Twitter でも最新情報をお届けしています。フォローお願い致します！
https://twitter.com/lilanoie

@ smileofkids　@ lilanoie

会報発行者：認定特定非営利活動法人　スマイルオブキッズ
〒 232-0066　神奈川県横浜市南区六ッ川 4 丁目 1124-2　電話・FAX：045-824-6014
http://www.smileofkids.jp/　e-mail：toiawase@smileofkids.jp ／編集担当：（株）ユック舎